

第18回 大手前比較文化学会 特別講演のご案内

この度、第18回大手前比較文化学会を開催するにあたり、大阪大学言語文化研究科 宮下 遼 講師、鳥越 皓之 本学副学長による、特別講演会を一般公開（無料）いたします。どうぞ、お気軽にご参加ください。

■日時：平成27年11月6日（金）

14：40～17：20

■場所：大手前大学 さくら夙川キャンパス

メディアライブラリーCELL フォーラム

■参加費：無料

■事前申込：不要

宮下 遼 氏 特別講演

題目 イスラーム文化圏の文学的
伝統とその近代化：オスマン
帝国からトルコ共和国へ



鳥越 皓之 氏 特別講演

題目 絵のように美しいとは—
イギリス湖水地方の風景から
考える



宮下 遼 (みやした りょう) 氏

【概略】 21世紀を迎えた今日、イスラーム文化圏における宗教をめぐる諸々の戦争、事件が取りざたされて久しいが、トルコは1923年の建国以来、ほぼ一貫して議会制民主主義と世俗主義が正常に機能してきた独自の文化的、宗教的、政治的風土を持つ国家である。本講演では、トルコをフィールドとしつつ、オスマン帝国期文化の軸を為した古典詩にはじまり、19世紀半ばに西洋小説が導入されて以降、それにとって代った散文小説への変遷を、その言語、主題、思想的変化の視点から通時的に俯瞰することで、イスラーム文化と近代について考察する。

【略歴】 1981年、東京生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得退学。現在、大阪大学言語文化研究科講師。専門はトルコ文学(史)。著書に『驚異の比較文化史』(共著、近刊)、訳書にオルハン・パムク『わたしの名は赤』、『無垢の博物館』小説集に『無名亭の夜』(講談社、2015)他

【所属】 大阪大学言語文化研究科講師

【専門】 トルコ文学(史)、文化史

鳥越 皓之 (とりごえ ひろゆき) 氏

【概略】 私は「まちづくり」を政策的に考えることを仕事としてきました。魅力的なコミュニティをつくるためには、どうしたらよいかを行政や地元の人たちとよく議論をし、また計画をしてきました。そのときに悩むのが、「経済的な活性化」や「人間関係の復活」以外のもうひとつの地域社会の魅力です。そこに「景観の魅力」を加えたいものです。

イギリスのナショナル・トラスト運動の成果を、アメリカや日本との比較で考えてみたいと思います。

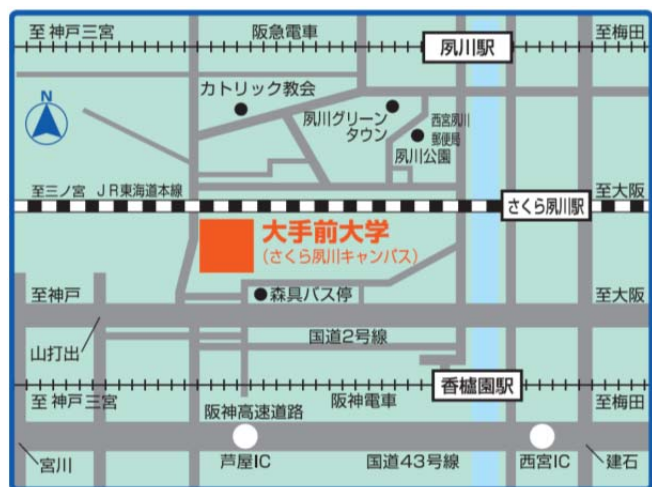
【略歴】 コミュニティの政策(コミュニティ・デザイン)に長年たずさわってきました。全国のさまざまな自治体や住民とともに、自治会や町内会、まちづくり協議会強化の方策について一緒に汗をかいてきました。また、水に関わる調査を世界の各地で行ってきました。滋賀県、茨城県の委託を受けて、琵琶湖と霞ヶ浦の調査をそれぞれ10年ほどつづけて水汚染の防止施策について研究をしてきました。

関西学院大学教授、筑波大学教授、早稲田大学教授を経て、2015年4月から現職。代表的な著書に『水と日本人』(岩波書店)、『地域自治会の研究』(ミネルヴァ書房)、『サザエさんのコミュニティの法則』

(NHK出版)、『環境ボランティア・NPOの社会学』(編、新曜社)、『地域の力で自然エネルギー!』(共著、岩波書店)、『花をたずねて吉野山』(集英社新書)、『琉球国の滅亡とハワイ移民』(吉川弘文館)など。

【所属】 大手前大学副学長、早稲田大学名誉教授

【専門】 専門は社会学、社会史、民俗学、環境問題、地域計画



- ・JRさくら夙川駅から徒歩7分
- ・阪急夙川駅から徒歩7分
- ・阪神香櫨園駅から徒歩7分

※なお当日は、同会場で学生による研究発表を行っております。会場へのご案内は、研究発表終了後となりますのでご了承ください。

※本学に駐車場はございません。ご来校の際は公共交通機関のご利用をお願いします。

■お問合せ先：〒662-8552 兵庫県西宮市御茶家所町 6-42

大手前大学教務課 (さくら夙川キャンパス)

TEL (0798) 32-5009 (直通)